

施設カルテ（評価シート）

二子山公園

施設番号 148

令和 6 .3.31時点

Ⅰ．施設情報・代表建物の情報					
施設基本情報	施設名称	二子山公園			
	代表所在地(地番又は住所)	藤原町3-8-7	代表建築年度	S61	( 1986 ) 年度
	所管課	都市計画課	構造・階層	W・1階建	
	大分類(類型)	公園	経過年数	37 年	
	中分類(機能)	公園	敷地面積	3,750.00 m <sup>2</sup>	
	配置形態・管理形態	単独	直営	延床面積	80.60 m <sup>2</sup>
	建物所有状況	市所有	土地所有状況	市所有	
	借受面積(賃借の場合)	-	m <sup>2</sup>	借地面積(借地の場合)	- m <sup>2</sup>
	避難所指定の有無	なし	駐車可能台数	0 台	

Ⅱ. 施設性能、財務情報、供給情報分析						※端数処理の関係で合計と内訳、単位あたりの数値が一致しない箇所がある						
■ 施設性能分析(評価大分類)						■ 財務情報(過去3年間平均)						
<p>当該施設の値 比較対象(同一分類)の他施設の平均値</p>						歳出		当該施設		同一中分類平均		
						歳出合計		2,503 千円		5,080 千円		
						内訳	人件費		0 千円		553 千円	
							需用費		29 千円		231 千円	
							委託料		201 千円		975 千円	
							土地・建物賃借料		0 千円		0 千円	
							工事請負費		2,273 千円		1,620 千円	
							その他維持管理費		0 千円		1 千円	
						指定管理料等		0 千円		1,700 千円		
						延床面積あたり(縦棒)		31,059 円		120,572 円		
件数(折線)		- 円		469 円								
						歳入		当該施設		同一中分類平均		
						歳入合計		0 千円		2 千円		
						内訳	施設利用		0 千円		0 千円	
							その他		0 千円		2 千円	
							補助金等		0 千円		0 千円	
						延床面積あたり(縦棒)		0 円		13 円		
						件数(折線)		- 円		0 円		
評価大分類項目						I 施設	II 設備	III 安全	IV 環境	V 機能		
当該施設の値						73	100	0	20	60		
同一中分類の平均値						83	97	0	26	77		
■ 供給状況(過去3年間の平均)												
利用実績				当該施設				同一中分類平均				
児童・生徒・園児数				- 人				- 人				
学級数				- 組				- 組				
開館・提供日数				- 日				334 日				
年間延利用者数				- 人				47,489 人				
年間利用・給食件数				- 件				- 件				
資料数				- 点				- 点				
入居戸数				- 戸				- 戸				
開館日数(縦棒)				- 日				47,489 日				
件数(折線)				- 件				134 件				
【利用状況の推移】												
令和3年度 令和4年度 令和5年度												
凡例												
開館日数(縦棒) 日				件数(折線) 件								
【歳出の推移】												
令和3年度 令和4年度 令和5年度												
凡例												
当該施設				延床面積あたり				件数(折線)				
分類平均				延床面積あたり				件数(折線)				
【歳入の推移】												
令和3年度 令和4年度 令和5年度												
凡例												
当該施設				延床面積あたり				件数(折線)				
分類平均				延床面積あたり				件数(折線)				

Ⅲ．施設評価結果によるポートフォリオ(機能別評価)		
■ 費用対効果分析【供給グラフ折線×㎡あたり収支(工事請負費除く)による比較】		
【当該施設の評価】 B2		
区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い
凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(同一分類)の他施設		
※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。		

■ 一次評価【費用対効果分析×施設性能分析による比較】		
【当該施設の評価】 B1		
区分	対応	方向性の考え方
A	継続	現状維持・長寿命化を基本とする
B1	向上	施設性能の向上を検討する
B2	向上	費用対効果の向上を検討する
C1	改善	施設性能の改善を検討する
C2	改善	施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する
C3	改善	費用対効果の改善を検討する
D1	見直し	施設性能の見直し(建替え改修等)を検討する
D2	見直し	費用対効果の見直し(機能移転等)を検討する
E	要見直し	施設性能と費用対効果、両方の見直しが必要である
凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(同一分類)の他施設		
※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。		

Ⅳ．機能及び施設の現状と課題		
■ 現状における施設の課題と対応(現状で課題がない場合でも今後10～20年程度を想定して記載)		
課題	近隣住民(自治会)が利用する事務所とトイレとなっている。	劣化してきている。
対応方針	公園に必要な不可欠な建物なので、機能は維持していかなければならないが、近隣住民(自治会)の人数も減少傾向にあるため、縮小した建替えも検討する。	平成33年度に建替えを予定している。

# 施設カルテ（調査票）

二子山公園

令和 6 .3.31時点

## I 施設・建物情報

施設基本情報	施設名称		二子山公園		会計名		普通会計			
	施設番号		148		カルテ番号		139-016030-01-075			
	所在地（地番又は住所）		藤原町3-8-7		所管課		都市計画課			
	大分類		公園		中分類		公園			
	延床面積施設計		80.60 m <sup>2</sup>		敷地面積		3,750.00 m <sup>2</sup>			
	建物所有状況		市所有		土地所有状況		市所有			
	うち借受建物面積		m <sup>2</sup>		うち借地面積		m <sup>2</sup>			
	小学校区		太田小学校通学区域		中学校区		太田中学校通学区域			
	管理形態		直営		配置形態		単独			
	指定管理・委託先名									
	複合・併設の状況									
避難所指定		なし		駐車可能台数		0 台				
建物基本情報 ※欄が不足する場合には4ページ以降に続きを記載	1	建物名	二子山公園管理事務所		主体構造	W		階数(地上・地下)	1	0
		大規模改修実施年度		延床面積	74.52 m <sup>2</sup>	建築年度	1986		年度	
		耐震診断・耐震補強	不要		不要	経過年数	37		年	
	2	建物名	倉庫		主体構造	その他		階数(地上・地下)	1	0
		大規模改修実施年度		延床面積	4.68 m <sup>2</sup>	建築年度	1986		年度	
		耐震診断・耐震補強	不要		不要	経過年数	37		年	
	3	建物名	トイレ		主体構造	その他		階数(地上・地下)	1	
		大規模改修実施年度		延床面積	1.40 m <sup>2</sup>	建築年度	1986		年度	
		耐震診断・耐震補強	不要		不要	経過年数	37		年	
	4	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度			年度	
		耐震診断・耐震補強				経過年数	-		年	
	5	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度			年度	
		耐震診断・耐震補強				経過年数	-		年	
	6	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度			年度	
		耐震診断・耐震補強				経過年数	-		年	
	7	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度			年度	
		耐震診断・耐震補強				経過年数	-		年	
	8	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度			年度	
		耐震診断・耐震補強				経過年数	-		年	
9	建物名			主体構造			階数(地上・地下)			
	大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度			年度		
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-		年		
10	建物名			主体構造			階数(地上・地下)			
	大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度			年度		
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-		年		

## 施設カルテ（調査票）

### Ⅱ 財務情報（コスト）

単位：千円（端数処理の関係で過去3年の平均と各年度の合計が一致しない箇所がある）

		過去3年の平均	令和3年度	令和4年度	令和5年度
運営 人員	正規職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	再任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	会計年度任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
施設運営人員 計		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
人件費		0	0	0	0
需用費【光熱水費】		29	19	24	45
需用費【修繕料】		0	0	0	0
需用費【その他】		0	0	0	0
委託料（施設維持管理）		201	206	195	201
指定管理料		0	0	0	0
土地建物等賃借料		0	0	0	0
工事請負費		2,273	6,820	0	0
その他維持管理経費		0	0	0	0
①歳出合計		2,503	7,045	219	246
施設利用収入		0	0	0	0
その他の収入		0	0	0	0
補助金等収入		0	0	0	0
②歳入合計		0	0	0	0

財務 指 標	施設収支（①-②）	2,503	千円	収支割合（②÷①）	0.0	%
	利用者あたりコスト	-	円/人	利用件（点）数あたりコスト	-	円/件
	1㎡あたりコスト	31,059	円/㎡	入居戸数あたりコスト	-	円/戸

### Ⅲ 供給情報（利用）

※定員等については各施設に定めのある定員または過去3年間の平均値を記載

		定員等	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設 利用 状況	児童・生徒・園児数		人	人	人
	学級数		組	組	組
	開館・提供日数		日	日	日
	年間延利用者数		人	人	人
	年間利用・給食件数		件	件	件
	年間貸出資料数		点	点	点
	入居戸数		戸	戸	戸

運営 情報	設置目的	主として市内に居住する者の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供する。					
	設置根拠（設置条例等）	行田市都市公園条例					
	業務内容等	公園維持管理					
	目的外使用	無	目的外の内容				
	運営時間（平日）	：	～	：	運営時間（休日）	：	～
その他 制限等	建物解体等の制限						
	その他特記事項						

## 施設カルテ（調査票）

### Ⅲ 供給情報（利用）続き

供給指標	過去3年の平均利用者数	-	人	過去3年の平均学級数	-	組
	過去3年の平均開館日数	-	日	過去3年の平均利用件数	-	件
	過去3年の平均貸出資料数	-	点	過去3年の平均入居戸数	-	戸

### Ⅳ 施設性能調査結果

分類		内容
Ⅰ 施設	建物の外壁	建物の外壁修繕（外壁の塗り替え・張り替え等）は行っていますか。
		回答 【回答の内容】 1：平成20年度以降に修繕を行っていない、又は平成19年度以前に修繕を行っている。 2：平成20年度以降に竣工、又は修繕を実施しているが、目視で確認できる劣化（ヒビ割れ・タイル浮きなど）がある。 3：平成20年度以降に竣工、又は修繕を実施しており、外壁に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		2
		備考
	建物の屋根・屋上	建物の屋根・屋上の防水工事は行っていますか。
		回答 【回答の内容】 1：平成6年度以降に工事を行っていない、又は平成5年度以前に工事をやっている。 2：平成6年度以降に竣工、又は工事を実施しているが、雨漏りや目視で確認できる劣化（防水層の破損など）がある。 3：平成6年度以降に竣工、又は工事を実施しており屋根・屋上に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		2
		備考
	耐震性能	建物は耐震性を有していますか。
回答 【回答の内容】 1：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が無い。 2：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績がある。又は、耐震改修する必要がある。 3：新耐震基準に基づく建物である。 4：不明 ※耐震基準が不明な場合は、建築年が昭和56年6月1日以降の場合は新耐震基準、それ以前の場合は旧耐震基準とした。		
3		
備考		
Ⅱ 設備	冷暖房	冷暖房設備に支障はありますか。
		回答 【回答の内容】 1：支障あり（備考欄に支障内容を入力してください） 2：支障はあるが軽微なもの 3：支障なし 4：不明 5：該当なし
		3
		備考
	給排水	建物の給排水管の更新工事は行っていますか。
		回答 【回答の内容】 1：平成6年度以降に更新工事を行っていない。 2：平成6年度以降に竣工、又は更新を実施しているが、漏水や赤水、詰まり、水圧不足等が生じている。 3：平成6年度以降に竣工、又は更新を実施しており、問題が無い。 4：不明 5：該当なし
3		
備考		
Ⅲ 安全	防災管理	消防用設備等・特殊消防用設備等点検・報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。
		回答 【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		5
		備考
	安全管理	特殊建築物定期点検報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。
		回答 【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
5		
備考		
Ⅳ 環境	環境保全	太陽光パネルやLED照明等の省エネルギー設備を導入していますか。
		回答 【回答の内容】 1：未導入 2：検討中 3：導入済 4：不明 5：該当なし
		1
		備考
Ⅴ 機能	バリアフリー	バリアフリー（誘導ブロック、手すり、スロープの設置等）への対応ができていますか。
		回答 【回答の内容】 1：未対応 2：一部対応済 3：対応済 4：不明 5：該当なし（市民利用がなく、対応不要） ※概ね全体の7割程度が対応している場合は「3」、7割未満だが一部対応している場合は「2」を選択している
		2
		備考



# 施設カルテ（調査票）

## I 施設・建物情報（続き）

建物基本情報 2	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	11 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	12 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	13 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	14 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	15 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	16 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	17 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)			
18 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)			
19 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)			
20 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年	

## V 施設現況

施設写真

